

2017年11月21日(火)

午後1時30分 開始

【秘書広報課長補佐】 お待たせをしました。

ただいまより平成29年12月市長定例記者会見を始めさせていただきます。

本日の会見の進行につきましては、お手元の次第のとおり、最初に市長の挨拶、その後、事業発表をいたします。質問につきましては、事業発表についてからお願いします。事業発表の質疑応答終了後に、次第の3番目、フリーの質疑応答へと進行したいと思っております。

なお、ご質問の際は、ご自席のマイクのスイッチを入れていただき、ご質問の後は切っておりますようお願いいたします。

終了は14時30分を予定しております。ご協力お願い申し上げます。

それでは、市長、よろしくお願いします。

【市長】 皆さん、こんにちは。12月の定例記者会見でございます。よろしくお願いいたします。

また、11月3日には、市制施行80周年ということで、皆さんにお力添えを賜りまして無事終わることができました。ありがとうございました。また、11月9日には、天野浩ノーベル物理学賞の先生の講演会もさせていただきました、非常に盛会に終わることができました。皆様に感謝申し上げる次第であります。

きょうは、12月の議会の補正予算案の概要ということと、その他のことで発表項目がありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

【秘書広報課長補佐】 次に、事業発表をお願いいたします。

【市長】 今ほど言いましたように、12月の補正予算案の概要説明と、もう一つが敦賀市制施行80周年記念行事としまして、福井しあわせ元気「国体・障スポ」敦賀市開催記念講演会の開催についてであります。

まず、12月補正予算の概要について申し上げます。

今回の補正予算につきましては、国、県補助金の内示決定に伴うものや人事異動等による人件費の調整など、9月補正以降に予算措置が必要となったものを計上いたしました。

まず、総務費では、ふるさと納税の寄附見込み額増加に伴う返礼品の送付等に係る経費や、地域防災会が行う防災倉庫の設置に係る補助金を計上いたしました。

民生費では、社会保障・税番号制度における平成30年7月からの情報連携に対応するための各システムの改修経費を計上いたしました。

農林水産業費では、6次産業化を進める農業者に対する加工・販売に必要な機械等導入に係る補助金を、土木費では、市道西浦2号線整備に係る設計費用等を計上いたしました。

教育費では、小中学校における相談者、相談時間の増加に対応するため、各学校を巡回するスクールカウンセラーの配置に要する経費を計上いたしました。

以上が今回の補正予算の概要でございます。

2つ目の項目ですけれども、敦賀市制施行80周年記念行事、福井しあわせ元気「国体・障スポ」敦賀市開催記念講演会の開催についてであります。

福井しあわせ元気「国体・障スポ」の敦賀市開催まで、いよいよ300日を切りました。そこで、市民の開催機運を高めるため開催記念講演会を開催いたします。

内容は、敦賀市開催競技である軟式野球にちなみ、プロ野球北海道日本ハムファイターズの栗山英樹監督を講師に迎え、夢や育成をテーマにお話をいただきます。2回講演とし、1回目を進路実現に向けて中学校3年生を対象、2回目を国体関係者や一般市民を対象に開催します。

日程は、平成29年11月30日木曜日、プラザ萬象大ホールで行います。1回目につきましては「夢は正夢」、2回目については「育てる ～信じる力～」ということでお話をいただく予定です。

入場料は無料ですし、事前の申し込みも不要ですので、ぜひ皆さん、参加いただけますようによろしくをお願いします。

以上です。

【秘書広報課長補佐】 それでは、ただいま発表いたしました項目について質問を受けたいと思います。

最初に、幹事社さん、お願いします。

【記者】 よろしくをお願いします。

補正予算で、土木費の西浦2号線の整備。これは長期間停止していたやつですよ。再開する理由、きっかけを教えてください。

【市長】 県とともに電力事業者と協議した結果、福井県が実施しています原子力災害制圧道路等整備事業に市道西浦2号線を組み入れることになりまして、事業を再開することになったものです。

【記者】 その原子力災害道路整備事業には、いつ入ったんですか。入るんですか、これから。

【市長】 部長のほうでお願いします。

【建設部長】 11月10日でございます。

【記者】 11月10日に整備計画の中に入ったということ。

【建設部長】 そうです。

【記者】 そのままの計画では1号と2号があったと思うんですが、両方計画に入ったんですか。

【市長】 いや、2号だけです。

【記者】 2号だけが入ったんですね。

今回、設計修正業務委託費なんですが、これは具体的にどんな内容になるんですかね。

【建設部長】 2,600万円、これの内訳でございます。詳細設計の修正業務委託料、これが1,500万。水文環境調査業務委託料、これが300万。用地測量業務委託料600万。不動産鑑定業務委託料200万。以上でございます。

【記者】 分担金負担金となっているんですが、この2,600万円はどこが出すお金になるんですか。

【市長】 電力事業者に負担をいただくことになりました。

【記者】 これはどこですか。

【市長】 日本原電と関西電力です。

【記者】 内訳は。

【市長】 内訳は、まだ今からだと聞いています。

【記者】 2社で2,600万円を負担すると。

【市長】 はい。

【記者】 そもそも2号線は、工事、整備費は幾らを想定しているやつでしたっけ。幾らですかね、総整備費は。

【建設部長】 2号線の総事業費というご質問かと思いますが、これから詳細な設計とか調査、用地交渉を進めていきますし、トンネル等についても土質条件で大きく工事費が変化することもありますので、現在、正確な事業費を答えることはできないという状況です。

【記者】 事業費というのは、将来的にも全て電力事業者が負担するものなんですか。

【建設部長】 そう考えております。

【記者】 原電さんと関電さんの2社。

【建設部長】 そう考えております。

【記者】 一番最初の質問で、県の原子力災害道路の整備計画にはどういう理由で入ったんですかね。

【市長】 その部分については、市道西浦2号線は、当該区間の道路線形とか周辺の地域等を踏まえると、原子力災害が発生した場合、災害制圧を目的とした特殊車両と避難車両が錯綜し通行に支障が生じる可能性があるので、まず市道西浦2号線を原子力災害制圧道路として早期に整備するということになったというふうに聞いています。

【記者】 もう一方の1号線のほうは、今回、計画が見送られた理由は何ですか。

【市長】 見送られた理由とすると、1号線は、平行する県道区間の線形もいいですし、2号線と比べ、災害制圧の際に通行に支障を来す可能性が低いことから、今回の原子力災害制圧道路等の整備事業として整備することは難しいということになったというふうに聞いています。

【記者】 じゃ、1号線は将来的にも整備計画には入らないということですかね。

【市長】 市道西浦1号線の整備については、生活道路や避難道路としてだけでなく、災害制圧道路等としても利用できる非常に重要な路線でありますので、機能強化を図ることが必要であるというふうに考えていますので、今後も関係機関とともに引き続き早期再開に向けて協議してまいりたいというふうに思います。

【記者】 市として、今回見送られた1号線を市のお金で整備するという考えはありますか。

【市長】 今のところ、そういう予定はしておりません。

【記者】 承知しました。ありがとうございます。

【記者】 スクールカウンセラーについてなんですけれども、新たに配置とあるんですけども、何人配置するのかというのと、あと配置時間240時間、これはどういう意味なのか教えてください。

【教育長】 新たに配置ということよりも、今現在、各学校に配置されているスクールカウンセラーがおりますので、その時間に上乗せしてという意味合いで240時間ということでございます。

【記者】 上乘せする背景にあるのは、池田中の生徒の自殺とかも絡んでいるんですか。

【教育長】 基本的には、各学校のほうからの要請がありましたので、校長会等で確認をした結果、このような形でということになっております。

【記者】 その各学校からの要請というのは、スクールカウンセラーをふやしてほしいとかスクールカウンセラーの相談時間をふやしてほしいというような要請だったんですか。

【教育長】 後者のほうです。スクールカウンセラーの相談時間をふやしてほしいと。ご承知かと思うんですが、平成28年度の問行調査の結果等を見ましても不登校とかいじめ等々ふえている状況にもございましたので、各学校の校長先生方がそれに反応して、また子供たちの実情に鑑みて要請があったというふうにご理解いただきたいと思います。

【記者】 あと、農林水産業費の有害鳥獣が当初予定を超える見込みとなっているというのは、どの地域でどれぐらいふえているとか、詳しい状況を教えてください。

【建設部長】 有害鳥獣の農地侵入防止事業費ということで、けもの類2,166頭と当初予定しておりました。見込みでございますけれども、約3,000頭、3,032頭を見込んでおります。けもの全体としては1.4倍。特に鹿が多うございまして、鹿の場合は1.5倍、このうちの8割が鹿ということで、1.5倍ふえるであろうということで予算を計上したというところで、場所については、今すぐには出てこないということでございます。済みません。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社伺います。発表項目につきまして質問がありましたら挙手をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、次第の3番目、フリーの質疑応答へに行きたいと思います。こちらも幹事社さん、お願いします。

【記者】 先日のミサイル発射を想定した訓練で、敦賀市が屋外スピーカーなどで音声流れなかった。原因はもうわかりましたか。

【副市長】 私のほうから。原因については今調査中で、中間報告的には後ほど部長のほうから詳細はフォローしていただきますけれども、まず私のほうから3点ほどお願いしたいと思います。

まず1点目として、今回、J－A L E R Tの訓練に際しまして、当市が訓練として予定していた音声の一部流れなかったということに関して、市民の皆さんを初め大変ご迷惑をかけたということをまずおわびを申し上げたいというふうに思います。

そして、市民の皆さんもちょっと懸念されているかもしれませんが、万が一の有事の際には、今回想定していた音声データというのは一切使わないものでございますので、有事の際にはJ－A L E R Tからの直接の音声の流れる。それは今回の実証でもしっかりと流れたということでございますので、その辺はご安心いただければと思います。

それと、3点目ですけれども、今回トラブルはあったんですが、当初から予定していました小中学校での訓練、あわせて訓練をやるといった部分について、各学校の先生方の機転によって肉声で校内放送等々を利用いただいて、訓練自体はそれぞれの学校でやっていただけたということで、非常にありがたかったなということでございます。

以上3点ですが、あと詳細について部長のほうから。

【市民生活部長】 今ほど副市長のほうで大概のことはコメントをいただいたかなと思いますので。

原因についてなんです、今のところわかっているものとしては、県から提供を受けた音声ファイルについて、なかなか言葉では説明しづらいんですが、左右のスピーカーを想像していただいて、そのうちの片一方にしか音声が入っていなかったというのはわかっております。その音声ファイルを防災ラジオ、それから屋外スピーカーへ流す機器の接続が、受け側の端子が1個しかないということなので、要するに、片一方のスピーカーから音は鳴っている、片一方のスピーカーからは音は鳴っていない。このような状態の中で受け側の機械も一つしか口がない。恐らくは音の鳴っていないほうにつながっていたのではないかというようなことではないかなということで、今ほども副市長のほうからありましたけれども、実践の場合、本番の場合はこういうことはあり得ないことでありますけれども、今後もこういった訓練が想定をされますので、その訓練の対応として今回のようなことがやっぱりあってはならないということで、速やかに機器の接続、配線ですね。配線関係を見直すとともに、事前のテストをしっかりとやるように保守点検の業者及び担当に指示を出したところでございます。

以上です。

【記者】 細かいんですけども、左右のスピーカー関係がよくわからなかったんですけども、つないだほうのスピーカーは音が出ていたんですよね。

【市民生活部長】 なかなか言葉で言うと伝わりづらいかなとは思いますが、左右のスピーカーがあって、例えばこっちのスピーカーから鳴りますよと。それを普通にAVケーブルというと赤と白のジャックがあって、パソコンの側はミニプラグというので1本の線が出てくるわけなんです。その受け側の機器というのはAVケーブルで差すので、赤、白があると。これまでの訓練であれば、そのうちの赤のピンを差してあったんです。それで実際その当日も「テストです」というような国から直接来ている音声についてはちゃんと流れたということで大丈夫ではないかと思っていたんですが、今ほど言ったように、恐らくは白いケーブルを差してあったら多分鳴ったんだろうなということではないかなということなんです。

今後は、赤のほうであれ白のほうであれ、どちらかに音声が入っていたらそれを1本のケーブルにして接続機器に差せばいいんじゃないかということを、今、業者にも指示をして、実際にテストなんかもやって、これで大丈夫という体制を早々にとりたいなと思っています。よろしいでしょうか。

【記者】 つまりは、ケーブルの差し間違い。

【市民生活部長】 差し間違いというか、これまでちゃんとできていたし、実際に国から来る音声もちゃんと流れていると。ただ、今回は、たまたま県がこういう音声ファイルをつくったんだと。そういうような経験がなかったものですから。実際に聞くと確かに音は聞こえるんですよ、パソコンからは。ということで大丈夫だという判断をしたんですが、実はそこに落とし穴があったんだなということで、いろんなことを想定して、今後はある程度どんな音声であれきちんと流せるようにということで体制を整えていくと。

【記者】 わかりました。了解です。

【記者】 22日の全原協の意見交換会なんですけれども、何について意見を交換するんですか。

【市長】 全原協につきましては、原子力政策やエネルギー政策全般に関しまして会員と

経済産業省との意見交換を行う予定でありまして、出席者いたしますと、現時点では大串経済産業大臣政務官が出席されるというふうに聞いています。

【記者】 もんじゅについてなんですけれども、県や市が12項目ぐらい地域振興策を要望している中で、あえて濃淡をつけるとしたら、市としては特にどの要望が一番重要だとお考えですか。

【市長】 濃淡をつけると、市の要望が一番大事です。市として出した要望が一番大事ですけれども。

【記者】 その中で一つとか選ぶとしたら、特にこれだけはみたいなものはありますか。

【市長】 要望については、一番心配なのは安全、安心なのでそこが一番大事ですけれども。ただ、働いている方が1,000人いらっしゃいますので、1,000人の雇用というのは一番重要視している部分です。

【秘書広報課長補佐】 それでは、各社伺います。ご質問ありましたら挙手をお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、これをもちまして12月の市長定例記者会見を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

午後1時53分 終了